



キリスト教科学 とは何か

キリスト教科学*を発見し、創始したメリー・ベーカー・エディは、キリスト教科学を、「神の法則、善の法則...」(Rudimental Divine Science『神性科学の基本』)と、定義しました。神は、無限の愛であり、変わらぬ善意であることを、このようにより深く理解すると、私たちは誰をも癒し、救い、回復させることができる祈りに導かれます。

1866年に致命傷を負ったとき、メリー・ベーカー・エディは心から神を求めました。そして聖書を開き、イエスがある人を即座にそして完全に癒した話を読みました。すると神、霊のみが実在するという新しい感覚が彼女の意識にあふれ、彼女はその瞬間に癒されていました。彼女は自分がどのようにして、またなぜ癒されたのか是非知りたいと願い、それから数年間にわたり聖書を探求し、聖書の根底には神の法則があることを知りました。それが後に彼女が教え実践するキリスト教科学の基礎となりました。

それ以来、多くの人々がこのキリスト教の科学によって自分と神との関係をより良く理解すると、健康を取り戻し、性格が一変するを知りました。そして、一つ一つの癒しに深く感銘し、私たちすべてがどんなに神に愛されているかということを他の人々にも知ってほしい、経験してほしいと、心から願うようになります。

* Christian Science (クリスチャン・サイエンス)
太字は、唯一無限の神、神の同意語、またキリスト教科学において特殊な意味を持つ用語

もっとお知りになりたい方は

日本語のウェブサイト<ChristianScience.com/jp>を、ご覧ください。

- 聖書や『科学と健康—付聖書の鍵』を読んだり、購入することができます。
- 日曜礼拝や水曜の証しの会に出席したり、インターネットで聞くことができます。
- キリスト教科学の読書室を訪ねたり、キリスト教科学の講演会に出席することができます。
- キリスト教科学の実践士、教師、あるいは看護師を、見つけることができます。
- 大学にあるキリスト教科学大学団(CSO)に、参加することができます。
- ボストン市所在の母教会、第一科学者キリスト教会と連絡を取ることができます。
- キリスト教科学の記事、癒しの証言、また週毎の聖書教課を探したり、読んだり、聴いたりすることができます。
- メリー・ベーカー・エディ図書館に連絡して、一般向けのプログラム、また学術研究の機会について尋ねることができます。

霊的癒しという 聖なる任務

科学者キリスト教会は、キリスト教の一宗派です。聖書、特にイエスの教えがその実践の根幹を成しています。

メリー・ベーカー・エディ著、『科学と健康—付聖書の鍵』に次のように書かれています:「イエスは“キリストによる癒し”の霊的な基盤の上に彼の教会を築き、そして彼の使命を守り通した」。これが、科学者キリスト教会が守り続ける使命です。

このキリストによる癒しの体系の実践は、100年余にわたり体の、また心の問題について卓越した治療を行なってきました。これら癒しの証言の多くはインターネットでもご覧いただけます。キリスト教科学では、神は常に私たちの健康と幸福を支えていると理解されています。祈りの力は、信仰だけではなく、全人類を包む神の神性の法則を更に深く理解することにあるのです。

私たちは誰でも、自分自身や家族にとって、それぞれに適した健康法を自由に選ぶことができます。キリスト教科学を実践することにより、多くの人々が医薬や他の物質的な健康法を用いることなく日々、健康に過ごしています。

キリスト教科学の原点

創世記から黙示録に至る聖書全体が、キリスト教科学の神学と実践の基盤です。特にイエスの果たした聖なる任務は、私たちが自分の真の本性は霊的であり、神の映像また似姿であることを認めると、癒しと再生を経験することを例示しています。その例を聖書に現れる人々、アブラハム、ヤコブ、モーセ、預言者たち、イエス、そしてイエスから直接に学んだ弟子たちや彼の教えに従った人々の話に見ることができます。

メリー・ベーカー・エディは生涯を通して霊的探求を続け、それが後に彼女が発見と呼んだものへと導きました。彼女は神の法則は、力強い霊的命令であり、人類を癒し、救い、人類に恵みをもたらすために常に存在し、作用していることを知りました。彼女にとってそれは、イエスが教えた、実際のキリスト教でした。



メリー・ベーカー・エディは、キリストによる癒しの実践がどのように展開していったか、その経緯についてある患者のもとに呼ばれたときのことを次のように書いています。患者の担当医は著名な医師で、患者は肺炎のため危篤状態であると診断していました。「私が患者を、物質的な方法を用いずに即座に回復させたのを見て、彼は、私の癒しの体系を説明した文書があるかと、熱心に尋ねました。...彼は、形而上学による私の治療体系を広く世界に説明する本を、すぐにも書くようにと強く勧めました」(The First Church of Christ, Scientist, and Miscellany 『第一科学者キリスト教会と文集』)。

彼女は当時すでにメモをとっていましたが、それが後に彼女の主著、『科学と健康一付聖書の鍵』となりました。この本はキリスト教科学について、またその実践がもたらす霊的再生と癒しについて完全に説明しています。

科学者キリスト教会とその活動

聖書と『科学と健康』が、世界に広がるこの教会の普遍的な牧師です。この牧師はいつでも私たちを導き、私たちに靈感を与えます。そしてまた日曜礼拝の説教や、水曜の証しの会で読まれる朗読の言葉は、この牧師によるものです。教会の活動や礼拝は、会員たちによって行なわれています。

メリー・ベーカー・エディは、1879年に科学者キリスト教会を設立しました。この教会は米国ボストン市にある母教会と、世界各地にある科学者キリスト教会の支教会を含み、それぞれが日曜礼拝、日曜学校、水曜の証しの会を行ない、一般に公開されている読書室を持ち、また講演会を行なっています。日曜学校は20歳までの生徒のためのクラスで、聖書について話し合い、時を超えた聖書の教えがどのように今日の生活で活用できるかについて学びます。水曜の証しの会では朗読のあと、出席者が癒しの証言を分かち合います。読書室にはキリスト教科学に関する書物や雑誌、聖書や聖書の参考書、その他数多くの参考資料が備えてあり、どなたでもこれらの資料を購入したり、借りたり、閲覧することができます。どなたでもご利用できます。



キリスト教科学実践士およびキリスト教科学看護師は、癒しを求めて祈っている人を更に助け、世話することを務めとしています。実践士は必要に応じて具体的な祈りの治療を行ない、キリスト教科学看護師は医療を用いない方法で心のこもった手当をします。

科学者キリスト教会は若者、また成人にも、霊的な教育を受ける機会を与えています。日曜学校のクラスがあり、また

「私は、**霊**を理解するためには、考えが**霊化**されなければならないことを学んだ。**神性科学**において**神**を少しでも理解するためには、考えが、**正直で、無私で、清らかでなければならない**」

メリー・ベーカー・エディ

『キリスト教科学クォーターリー』に示された週毎の聖書教課を学ぶことができます。そして公認されたキリスト教科学教師による2週間の霊的癒しについてのコースを受けるとその後毎年、その教師の門下生会で学び続けることができます。

教会が刊行する週刊誌や月刊誌には、さまざまな言語で出版されている『キリスト教科学さきがけ』、英語で出版されている *Christian Science Sentinel* (クリスチャン・サイエンス・センチネル)、ならびに、*The Christian Science Journal* (ザ・クリスチャン・サイエンス・ジャーナル) がありますが、そのいずれも記事や検証された証しによって、**キリスト教科学の実践が救いと癒しの結果をもたらす**ことを示しています。



The Christian Science Monitor (ザ・クリスチャン・サイエンス・モニター) は、1908年にメリー・ベーカー・エディが創刊した国際新聞です。世界のニュースを思慮深く、人道的にバランスをもって伝え、進歩や期待とともに苦難や紛争についても、敏感に対応し報道しています。モニターは、「誰をも傷つけることなく、全人類に恵みをもたらすために」(*Miscellany* 『文集』)、設立されました。モニターは、ピュリッツァー賞を何度も受賞し他にも多くの賞を受けています。ウェブサイト

< CSMonitor.com >、週刊誌 *Monitor Weekly*、また日刊デジタル版を提供しています。

